

上越市の観光政策について

上越市産業観光部観光局長 村上雅巳

上越市は、長い歴史や自然に育まれた多くの個性豊かな魅力ある地域資源を有しています。人口減少の時代を迎え、多くの自治体が持続可能なまちづくりを目指し地域活性化に向けた取組みを進めている中、市ではこのような地域資源を活かすため、観光を重要な地域振興施策の一つと位置づけ、重点的に取組んでいくとしています。

そこで昨年度、「上越市第三次観光振興五か年計画」を策定し、今後五年間で取組むべき戦略的な観光振興施策を示しました。

計画は「上越市の知名度向上」及び「交流人口の拡大」を二大目標に掲げ、将来的には「住んでよし、訪れてよし」の観光立市を目指していくことを最終目標としており、現在その実現に向けてシティセールスや誘客事業などに積極的に取組んでいます。

特に国を中心に推進している訪日外国人旅行者数の増を目指す「ビジット・ジャパン・キャンペーン」と連携し、市でも昨年以降、旅行代理店の招

請やモニターツアーの実施のほか海外での営業活動を行ってきました。今年七月には、韓国から中学校の修学旅行誘致が実現するなど、その成果も現れてきました。

また、昨年度、国の「食文化を核とした観光的な魅力度向上による地域活性化調査」のモデル地区の指定を受け、上越



十月、十一月に行った「上越市ふるさとアピール月間」ロゴマーク

市の食資源を、市民をはじめ観光客が魅力に感じるようなブランドに仕立てていくことを検討しました。

その検討結果が今年十月に開催した酒まつり及びそばまつりに結びつきました。

また、今年の十月、十一月の二ヶ月間を「上越市ふるさとアピール月間」として、酒まつり、そばまつりのほか「城下町・高田花ロード」「直江津く関山間鉄道開通二二〇周年記念イベント」など、地域資源を活用した様々なイベントを開催しました。同時に、観光資源や直江津港のPR、企業誘致などシティセールスを国内外で行い、当市の知名度向上と交流人口の拡大を図るためのPRと、上越市の魅力の再認識及び市民の一体感醸成を図ってまいりました。



このような中、来年は、親鸞聖人が上越の地に上陸して八百年目にあたることや、上杉謙信公も登場するNHK大河ドラマ「風林火山」の放映など、上越市をアピールする絶好の機会であることから、アピール月間を拡大し、「上越市ふるさとアピール年間」と位置づけ、一年を通してさらに

徹底した上越市のPRを行っていくことを予定しています。

そのため、この十月から新たに産業観光部内に観光局を設置し、事業の推進と戦略的なシティセールスの実行に向けて体制を強化したところです。

今後、より一層観光事業を推進してまいります
が、Jネットの皆さんからも、引き続き上越市の大使として市のPRに一役を担っていただき、「ふるさと上越市」をアピールくださるようお願いいたします。



台湾でのトップセールスによる観光PR



名古屋市金山駅における「上越市の観光と物産展」